

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI



2018

11

No. 752



今年もお菓子をくれないとイタズラしちゃうぞっ!
ハロウィン de YY

CONTENTS

インフォメーション..... 2

【トピックス】

「よしきフォトコンテスト」開催中
応募の締め切りが近づいています..... 4

【シリーズ歴史⑩】

吉敷とホテル(その2)..... 4

【よしき四方山ばなし⑦】

比翼墓..... 5

今月の吉敷人..... 5

レポート..... 6

【シリーズ偉人⑩】

吉敷の治水に尽くした小田平兵衛・
矢田太兵衛・野村勇..... 7

【よしきで輝く】

手編みの会..... 7

イベントカレンダー..... 8

かけはし..... 8

よしき人



YOSHIKI
DATA

【人口】14,750(前月比 +52) 【世帯数】6,251(前月比 +77) 平成30年10月1日現在

イニフォメーション

つどいの広場「楽楽楽」講座

「ちららの秋祭り」

楽楽楽の畑で、お芋や落花生を掘ってみんなで食べましょう！お父さんやおじいちゃん、おばあちゃん、地域の方の参加も大歓迎です！

雨天の場合は、部屋の中でお芋ごはんを食べたり、絵本や紙芝居をしますよ。

とき 11月3日(土) 10時30分～12時

場所 つどいの広場「楽楽楽」

対象 未就学児と保護者

参加費 一家族100円

準備 スコップ、軍手、お茶、汚れてもよい服装

申込・問い合わせ つどいの広場「楽楽楽」

☎083-928-0035



昨年の様子

よしきフォトコン写真教室

「初めての一眼レフ」

カメラ初心者を対象に、「吉敷ふるさとまつり」の会場において、祭りを楽しんでいる様子や、地域交流センターを拠点に活動する団体の日頃の成果を発表する様子を撮ってみませんか。

写真教室では、楽しそうに活動している人々の、いきいきとした表情の上手な撮り方(構図や設定など)を学びます。コンパクトデジカメでもスマホでも可。教室の最後には、フォトコンテストへの応募にも挑戦しましょう。

とき 11月11日(日) 12時30分～14時

場所 地域交流センター 地域活動室

講師 クワシー 優子氏(フォトグラファー)

対象 カメラ初心者10名(先着順)

問い合わせ よしきフォトコンテスト実行委員会(地域づくり協議会内)

☎083-922-1334



クワシー 優子氏

母子相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関することなど、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて気軽にお越しください。

とき 11月14日(水) 13時30分～14時30分(受付時間)

場所 地域交流センター 和室

申込 不要

準備 母子健康手帳

問い合わせ 子育て保健課

☎083-921-7085



秋の花壇講座

来年の春に向け、土作りや肥料の使い方、花壇のデザイン等を学んでみませんか。

初心者でも安心！一緒に花壇づくりに挑戦してみましょう。

とき 11月15日(木) 19時～20時

場所 地域交流センター 視聴覚室

申込 不要

講師 吹上 笑美氏(株式会社 多々良造園)

対象 花壇作りに興味のある方

問い合わせ 地域交流センター

☎083-922-13915

「吉敷と四境戦争」

芸州口の戦い散策バスツアー

郷校「憲章館」は、現在の良城小学校の敷地に毛利家により創設されました。幕末に憲章館出身の若者たちが、芸州口において幕府軍と戦った活躍を、専門家の解説を受けながら、和木町、小瀬川周辺、岩国市を視察します。

また、周南市熊毛に現存する戸家郷校「徳修館」にも立ち寄り、澤山保羅、成瀬仁蔵、内海忠勝などの偉人を輩出した憲章館に思いを馳せます。

とき 12月9日(日) 7時45分

地域交流センター 集合

行程 交流センター8時発・戸家郷校「徳修館」・吉川資料館、吉川家墓所・和木町歴史資料館(芸州口の戦い)・小瀬川(芸州口の戦いの関連史跡)・交流センター17時30分着

講師 山田 稔氏(山口県立山口博物館 学芸課長/上東)

対象 吉敷在住の方35名(先着順)

参加費 3,000円(昼食・飲物代等)

申込 11月7日(水) 8時30分受付開始

主催・問い合わせ 文化振興協議会

☎083-922-1334



山田 稔氏

11/11(日)

第43回吉敷ふるさとまつり

よきフォトコンも開催中！
祭りの写真を撮って
コロッケ無料ゲット！

9:00より開会
(雨天決行)

- ・よきフォトコンテスト実行委員会では、お祭り当日、祭りでふれあう人々の写真を絶賛募集します。
- ・良城商工振興会の協力で、フォトコンテスト応募者1人につきコロッケ2個を無料で差し上げます。
- ※コロッケの提供は当日に限ります。
- ※コロッケは十分用意していますが品切れの際はご容赦ください。

- ・進行の都合上、多少の時間変更があります。あらかじめご了承ください。
- ・駐車場はありませんので、車以外の交通手段でご来場いただきますようお願いいたします。

昨年のふるさとまつりの様子

当日の交通規制等

- ・ふるさとまつりの開催のため、8時30分から15時30分まで下記の区間が歩行者天国となります。ご理解とご協力をお願いします。
- ・駐車場はありませんので、車以外の交通手段でご来場ください。



名物肉うどん前売り券 絶賛発売中

前売り券は300円です。
(※当日券は350円です。)

前売券の販売は11月9日(金)までです。
残り枚数はわずかとなっています。
無くなり次第、販売を終了します。

【うどん券販売所・問い合わせ】
地域づくり協議会 ☎922-3344



切り取り

<お楽しみ抽選会> 応募券

町内名
ふりがな
氏名

【受付時間：9時～13時】

- ・本券に町内名と氏名を書いて、ステージ横の受付にお持ちください。
- ・応募はお1人様1枚限り有効です。

<お楽しみ抽選会> 応募券

町内名
ふりがな
氏名

【受付時間：9時～13時】

- ・本券に町内名と氏名を書いて、ステージ横の受付にお持ちください。
- ・応募はお1人様1枚限り有効です。

<お楽しみ抽選会> 応募券

町内名
ふりがな
氏名

【受付時間：9時～13時】

- ・本券に町内名と氏名を書いて、ステージ横の受付にお持ちください。
- ・応募はお1人様1枚限り有効です。

<お楽しみ抽選会> 応募券

町内名
ふりがな
氏名

【受付時間：9時～13時】

- ・本券に町内名と氏名を書いて、ステージ横の受付にお持ちください。
- ・応募はお1人様1枚限り有効です。

「よしきフォトコンテスト」開催中 応募の締め切りが近づいています

地域づくり協議会では、今年度から新たに実行委員会を立ち上げて、「よしきフォトコンテスト」を開催しています。

フォトコンテストのテーマは、吉敷のまちづくりのスローガンから、「みんなでつくろう 笑顔あふれるふれあいのまち 吉敷」です。

**ふれあいのまち吉敷で
交流する人々の写真を大募集**

募集している作品は、「吉敷の美しい四季の風景とその中でふれあう人々の写真」または「吉敷で開催される様々なイベントや行事で交流する人々の写真」です。

お祭りやイベント、お子さんやお孫さんとのふれあい、何気ない日常での交流など、あなたが撮った写真で、吉敷の魅力を伝えてみませんか。



**応募の締め切りは
11月22日(木)まで**

応募作品は、平成28年12月から平成30年11月までの間に撮影した写真なら応募可能です。

カメラに撮りためたままの写真や、パソコンに保存してある写真を、この機会にチェックしてみませんか。

多くの皆様からの応募をお待ちしています。

**吉敷を紹介する
カレンダーも作製します**

入賞作品は、表彰するとともに、イベントや行事等で展示します。

また、応募作品などを活用してカレンダーを作製し、より多くの方々に吉敷の魅力を発信していきます。

応募・問い合わせ

よしきフォトコンテスト実行委員会(地域づくり協議会内) 吉敷佐畑二丁目4-1

☎083-922-3344

✉yoshikibito@yoshikibito.com

http://www.yoshikibito.com/

※応募に関する詳細は、応募チラシやウェブサイトを確認できます。

シリーズ



10 吉敷とホタル(その2)

吉敷川をホタルの名所として復活するのは、長い間の吉敷地域住民の願いであった。

吉敷自治会では、自然増殖では長い月日がかかるので、県により施工されたホタル護岸工事をきっかけに人工増殖を検討したが、昭和10年に国の天然記念物として指定されていたので、親ホタル(成虫)の捕獲が許されない。

昭和41年から、県農業試験場では、ホタルの生態調査、増殖法に取り組んでいたが、試みは期待どおりにいかず、担当者の異動もあり、活動は中断していた。

平成7年、農業試験場の職員が突然、良城小学校を訪ねてきた。目的は「ホタルの飼育活動を学校で引き受けてほしい」であった。先生方は困惑しきりである。



ホタルの幼虫を飼育する児童

しかし、先生方は「子どもたちの情操教育になるし、郷土への愛着、貢献にもなる」として引き受けることにした。

農業試験場の器具をゆずり受け、不足する用具は先生方の手作り。理科準備室の一部を開放して、元農業試験場職員の児玉行氏を指導者に迎えて、先生と児童が一丸となって、幼虫の飼育に取り組み、秋に放流した。

児童の活動を知った地域住民は、さっそく「ホタルを育む会」を結成、飼育活動や財政的な支援を行い、「ホタル放流の集い」で喜び合った。また、市への働きかけにより、立派なホタル幼虫飼育舎が良城小学校に完成した。



ホタル放流の集いで発表する児童

よき 四方山 ばなし

Vol.
7

「比翼墓」

於弓は「私はもう生きておりたくない」と泣きじゃくりました。源蔵も近所の者が二人の仲を「家柄が違うのに」、「於弓が源蔵をたぶらかしちよる」とか言つて噂をしているのに苦しんでいました。

源蔵の家は、代々畔頭くろがしらという村の役人でしたが、於弓の家は貧しい小

作人でした。二人の噂は村に広がり始めていました。

そんな折、源蔵に親同士による縁談が持ち上がりました。源蔵はそのことを於弓に打ち明け、「お前と一緒に寝れないのなら一緒に死のう」と思い詰めた声で言いました。於弓は「うれしい」と目に涙を浮かべました。

「一緒に死ぬと決めたことは、悲しいことではなく、永久に一緒に居られるという喜びでした。」

田植えが終わつたある晩、源蔵は母親に「ちよつと出てくる」と言つて

比翼墓は、相思の男女と一緒に葬つた墓です。中尾の墓地に、二人の名前と戒名、源蔵の辞世の句「盛んなる花も風に散るぞかし 我も無常の風に散りゆく」が刻まれた墓があり、土地の人は「心中墓」とも呼んでいます。

奥の部屋で手早く白装束に着替え、伝家の短刀を忍ばせ家を出ました。打ち合わせていた墓地に行くと、於弓は花嫁姿で既に待っていました。脱いだ物をきちんとたたみ、三々九度の盃を交わすと、源蔵は短刀を前に置き、「於弓さん、思い残すことはないか」と尋ねました。於弓は「いいえ、ただ早くあの世であなただけの女房になりたいだけです」と笑顔で答えました。



比翼墓

よき 吉敷人

No.
047

今月の

きのした かずのり
木下 和則 さん (52)

まつり実行委員



大きい鉄板で焼きそばを作り、テントやパイプイスをキビキビと運び、時には自転車で会場内を颯爽と見回る木下氏。男らしい姿と、時折見せる少年のような笑顔が印象的だ。高校までサッカー三昧の日々をおくる。整備士免許を取得するため入学した専門学校時代には、元気すぎて大声を出し騒いでいたが、無事、整備工場に就職を果たす。24歳で結婚を機に吉敷人となった。

先輩の紹介で始めた地域の「まつり同好会」のお手伝いをきっかけに地域行事に参加することになり、良城小おやじの会にも入会。少年綱引き大会の指導者も引き受けている。「出店をしていると子ども大人も笑顔で声をかけてくれる。それが嬉しくてたまらのんよ!」と、目を輝かせながら話す。後輩から「きのび〜」と呼ばれ愛される彼の活躍がまた楽しみだ。(広報委員:松永)

昭和41年、山口市生まれ。佐田在住。妻、次男、義母と暮らす。妻がかけてくれる「お疲れ様」の言葉と、孫の成長が元気の源。早朝のランニングと晩酌(芋焼酎水割り)が日課。

よき 吉敷人

No.
045

今月の

あかまつ やすの
赤松 康乃 さん (55)

吉敷愛児園おおとり保育園 園長



毎日160名の園児や保護者に元気をいただいています。園のモットーは「こどもがまんなか」です。これからも地域の方々に愛される園となるよう、職員一同頑張ります!お気軽にお立ち寄りください。

山口市出身。名田島在住。孫育てに多忙の日々。ミステルの曲で癒される。

よき 吉敷人

No.
046

今月の

やまきた そうが
山北 創牙 ちゃん (1歳4ヶ月)

赤ちゃん



兄弟の中で1番大きく産まれました。なかなか離乳食が進まず悩みましたが、今はとてもよく食べ1番やんちゃです。兄たちにとても可愛がられています。これからの成長が楽しみです!

雅洋さん、典子さんの三男。長男、次男、三男の3兄弟。赤田在住。

レポート

アロマの香りが心地よい♡

9月28日(金)、「アロマテラピー&カフェ」を開催しました。

アロマテラピーインストラクターの蔵成栄子さんを講師に、アロマの香りがするコルクボードを作りました。ふわっと香るアロマに、参加者は心地よい気持ちで楽しめましたよ。



ねえねえ聞いてよ市長さん!

10月4日(木)、「やまぐち車座トーク21吉敷」が開催されました。

渡辺市長の市政報告の後、地域から、地域自主防災組織に対する支援や、放課後児童クラブもみじ第3学級の新設について、渡辺市長に直接要望しました。



やっぱりお菓子が欲しいよね♪

10月6日(土)、「ハロウィン de YY」を開催しました。

佐々木範子さんを講師に、ハロウィン用の黒いトンガリ帽子や、紙コップとオレンジ色の画用紙でカボチャのランタン型お菓子入れを作りました。2回目の開催ともあって、みんなも慣れてきた様子。今年は黒いトンガリ帽子をみんなで可愛くデコレーションしていましたよ!



手を上げて右を見て左を見て

10月17日(水)、「もみじ学級交通安全教室」が開催されました。

山口交通安全協会吉敷分会の皆さんや、警察の指導のもと、みんなで楽しく基本的な交通ルールを学ぶことができました。交通ルールを守って、交通事故0宣言地区を実現させましょう!



みんなちがってみんないい

10月18日(木)、「人権教育講演会」を開催しました。

今年度は、良城小学校とPTA、人権学習推進協議会でタイアップして開催。まずは、全クラスで人権学習の授業参観が行われ、保護者や地域の方が見守る中、全員で道徳の学習を行いました。あわせて作成した、児童達の絵画も力作ぞろいでした。



講演会では、金子みすゞ記念館館長の矢崎節夫氏が「みんなちがって、みんないい。さまざまなしを愛する」と題して、くること」と題して講演。

「言葉は言わなきゃ伝わりません。保護者だけではなく、地域の大人も、子どもたちへ大切な言葉をたくさん伝えましょう。」と参加者へ優しく呼びかけられました。



銀玉de大熱戦!

10月21日(日)、良城小学校グラウンドで、「吉敷ベタンク交流大会」を開催しました。

この日は天候にも恵まれ、25名の参加者が3人1組で熱戦を繰り広げました。この大会も3回目となり、参加者は熱くなりながらも、和気あいあいと楽しみながら、ベタンクを通じて交流しました。



成績表

優勝	桂田 昌坦(上東)
	福井美代子(佐畑)
	藤井 保行(佐畑)
準優勝	齋藤 昭司(上東)
	小野 光恵(佐畑)
	川浪 利子(佐畑)
第3位	原田ヨシ子(中尾)
	中川 洋子(佐畑)
	升田 豊(佐畑)



シリーズ 偉人 16

吉敷の治水に尽くした小田平兵衛・矢田太兵衛・野村勇

吉敷は、雨が降らないと吉敷川の
の水が少なくなり、稲が枯れてし
まうことが度々あり、水の争いも
絶えなかった。

小田平兵衛は宝暦七年（一七五
七）、吉敷村上東に生まれた。小
田家は代々庄屋で、寛政二年（一
七九〇）から三六六年間にわたって
畔頭または庄屋を勤めた。

文化一二年（一八一五）、小田
は農民の窮状を見るに忍びず、山
口代官所に陳情して、寺領（今の
赤田）の奥の野口に、吉敷随一の
面積を持つ堤を築いた。これがで
きてからは、日照りが続いても水
田の水が枯れることがなくなり、
稲は青々と育つようになった。

矢田太兵衛は文化七年（一八一
〇）、吉敷毛利家の家臣として赤
田に生まれた。

矢田は、吉敷川の四の宮の下
の井出から水を引いて、穂が良く育
つようにした。いわゆる赤田に残
る「矢田義溝」の新設である。また、
火番桶を作った配ったり、わらじ
を作った軒につるし、道行く人に
自由に利用してもらったなどして、

人々から喜ばれた。

野村勇は文政元年（一八一八）、
吉敷毛利家の家臣として中村に生
まれた。

野村は、中村、木崎の田が雨が
降らないとひび割れて、稲が枯れ
てしまうのを見て憂い、邑主毛利
元潔の赦しを得て、吉敷川の本流
から水を引く用水路を作ること
を決心した。当時、これは大事業で
完成を危ぶむ者が多かったが、野
村は屈することなく、日夜、工事
に心血を注ぎ完成させた。

吉敷の人々は、三人の功績を
後々まで伝えるため、寺領に「野
口破碑」、関屋（赤田）に「矢田
義溝碑」、中村に「溝倉施設表徳
之碑」を建てた。



野口破碑

（吉敷赤田平和生 著）

よきで 輝く

手編みの会

DATA

【活動日】第2、第4金曜日 13時30分～16時
【活動場所】地域交流センター会議室
【会員数】7名

地域交流センター登録団体等を紹
介するコーナー「よきで輝く」。
来る11月の「吉敷ふるさとまつ
り」では、毎年、センター定期利
用団体が日頃の活動の成果を発表
する。今回紹介する「手編みの
会」も長年手編みの力作を展示し
ている常連だ。

休止中だった会は、平成7年に
再結成された。「かぎ針」と「棒
針」を器用に使い、同じ物は二つ
とない作品を、時間をかけ丁寧に
編んでいく。講師の村瀬千津世さ
んは、手編み講師の資格も取得さ
れている。

手を動かしながら、時にはお
しゃべりするのを楽しんでいる。
「知人の紹介で入りました。情報
交換も兼ねて皆さんとおしゃべり
するのが楽しいですね。」とは、
10年続けている重永友紀子さん
だ。「紹介してくれた知人が素敵
な手編みの服を着て、自分でも
作ってみたいと思ったのよ。」と
は伊藤安子さん。時間をかけて

作ったものが実用的という点も手
編みの魅力だ。代表の山岸光子さ
んは、元々趣味で手編みをやって
いたが、ある日、センター玄関の
ホワイトボードに「手編みの会」
と書いてあるのを発見。自ら見学
に行き入会し、3年が経つ。

手先を動かしながら、時にはお
しゃべりを楽しみ、ホッとした
雰囲気を楽しんでいる手編みの
会。皆さんもぜひ一緒に、世界で
一つしかない作品を編んでみては
いかがだろうか。



楽しく編みませんか！

1 木	●町内会長会 17:00～
2 金	
3 土	●楽楽楽「ららの秋祭り」 10:30～12:00 P.2
4 日	
5 月	●あいさつの日 ●吉敷ベタンク同好会練習 8:30～
6 火	
7 水	●健康チェック・健康相談会 13:30～14:30(受付時間)
8 木	
9 金	
10 土	
11 日	●吉敷ふるさとまつり 9:00～15:00 P.3 ●よいきフォトコン写真教室 12:30～14:00 P.2 ●レノファ山口 VS 甲府 13:00～(維新公園)
12 月	
13 火	●広報委員会 17:00～
14 水	●母子相談 13:30～14:30(受付時間) P.2
15 木	●ふれあい給食 ●ひよっこくらぶ 10:00～12:00 ●秋の花壇講座 19:00～20:00 P.2
16 金	
17 土	●良城ふれあいフェスタ 9:00～ ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00
18 日	●YOSHIKIわくわくファームらんど 10:00～

19 月	●吉敷ベタンク同好会練習 8:30～
20 火	
21 水	
22 木	
23 祝	
24 土	
25 日	●親睦ゴルフ大会 9:00～
26 月	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00
27 火	
28 水	
29 木	
30 金	

12月のおもなイベント

3 月	あいさつの日
9 日	芸州口の戦い散策バスツアー 8:00～17:30
10 月	ひよっこくらぶ 10:00～12:00
20 木	ふれあい給食
25 火	YKB会(吉敷交流勉強会) 9:00～10:30
26 水	YKB会(吉敷交流勉強会) 9:00～10:30
28 金	しめなわ飾りづくり

「私の還暦感」

私は昭和33年12月生まれなので、間もなく60歳、いわゆる還暦を迎えます。くしくも明治維新150年の節目の年でもあります。

先日、平成29年の日本人の平均寿命が男性は81・09歳、女性は87・26歳で、いずれも過去最高を更新したという記事を見ました。

還暦が近くなり、気は若い頃のままですが、肉体的には確実に衰えていることを実感する今日この頃。心境としては、今までがむしろに生きてきて、過去を振り返ることもあまりなかったと思います。若い頃は「明日は明日の風が吹く」でしたが、現在は「明日を迎えるには今日どうするか」に少しずつ変化しているような気がします。

そんな私がここ2、3年、広報委員会の取材で感じることは、吉敷の高齢の方は、元気で前向きな方が多いということです。少し弱気になっている私は、大変励まされています。

「明日を迎えるために今日を精一杯生きる」これからの今までも確実に短い人生を、少しでも多くそう感じて行けたらと思うのが、吉敷在住30年の、間もなく還暦を迎える吉敷人の実感です。

広報委員 植野伸一

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)

☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)

☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)

☎083-922-3344 吉敷地区地域づくり協議会

吉敷地区地域づくり協議会 ウェブサイト

<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

